

1 がんばる介護事業所表彰について

- 要介護者等の自立支援や生活の質の向上、職員の雇用環境の改善に積極的に取り組む県内の事業所を表彰

自立支援部門

- 利用者の自立支援・生活の質（Quality Of Life：QOL）の向上に向けた取り組み
- 職員の資質向上によるより良い介護サービスの提供に向けた取り組み
- 介護サービスの質の向上等に向けた取り組み

雇用環境部門

- 人材育成のための取り組み
- 福利厚生の充実や職場環境改善のための取り組み
- 職員の離職防止に向けた取り組み



- 主な意見

- ・応募を増やすため、表彰事業所に対するインセンティブを新たに考えてみてはどうか。
（補助金の加点や表彰事業所の取り組み内容をテレビで紹介するなど）
- ・取り組み例に、外国人介護人材に関する取り組みやカスハラ対策などの例も加えてほしい。
- ・今後、対象要件に生産性向上推進体制加算を取得していることなど、客観的なものを加えていってもよいのではないか。

介護現場生産性向上 WG（8/8開催）

2 とやま介護テクノロジー普及・推進センターのKPI（案）について

○ センターの各種取組みの進捗を適切に把握・検証するためのKPIを設定

1 テクノロジー導入率

介護ロボットやICT等の導入事業者割合（※）

・令和8年に50%、令和11年に90%超の導入達成を目標に、現時点の導入率からの毎年の必要上昇率を算定

	R6.8末	R7	R8	R9	R10	R11
富山県	24.8%	41.6%	50.0%	63.3%	76.7%	90%超
全国	31.6%	-	50.0%	-	-	90%超

（※）情報公表システムにおける「事業所の特色」に入力のある事業者における、「生産性向上のための業務改善の取組」で「タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の軽減」の記載がある事業者の割合。

2 伴走支援の実施数

センターにおいて、伴走支援を行った事業所数

・3事業所以上/年
・令和5年度は3事業所、令和6年度は2事業所に対し実施

3 相談件数、研修等受講者数

事業所等からセンターへの相談件数、研修や体験講座の受講者数

・相談件数 500件/年、研修等受講者数 1,300名/年

	R5	R6
相談件数	658件	489件
研修等受講者数	1,225名	1,336名

○ 主な意見

- ・相談件数について、相談の結果どうなったのかというところが、相談対応では最も重要。
- ・相談といっても、事業所からの相談、県民からの相談など色々ある。相談者の種別、相談内容の種別ごとに把握が必要。どのような相談が多いか分析し、センターの取組みにつなげられるような把握の仕方が今後必要。
- ・国で指標にしているデジタル中核人材の育成についても注目してはどうか。